

2026年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験科目名

専門試験（ 日本古典文化論 ）

出題の意図

問題一は、日本文学・日本文化研究に関わる分野から、その文学史・文化史的、あるいは国語史的問題に関する理解と知識を質すとともに、文章読解能力および論述能力も併せ見るものである。

問題二は、日本古典文学研究の根幹となる作品読解能力を問うものである。また、原資料を取り扱う能力を見るために変体仮名の翻字も課す。

2026年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 日本古典文化論 全4枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 4枚、解答用紙 2枚を配付する。

問題 1

次の文章は木越治・丸井貴史編『読まなければなにもはじまらない いまから古典を〈読む〉ために』の一節である。これを読んで後の設問に答えよ。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、左記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

問一 空欄 にはどのような内容が入ると考えられるか、具体的に作文せよ。

問二 この文章をふまえて、自分自身の古典に対する関心に合わせた自由な意見を述べよ。

出典 木越治・丸井貴史編『読まなければなにもはじまらない いまから古典を〈読む〉ために』（文学通信、二〇二二年、二二～二五頁）

問題二

次の文章は『枕草子』の一節である。これを読んで、後の設問に答えよ。

春はあけぼの　夏はあじさい
 秋はあまのつゆ　冬はあつちぎ
 春はあけぼの　夏はあじさい
 秋はあまのつゆ　冬はあつちぎ
 春はあけぼの　夏はあじさい
 秋はあまのつゆ　冬はあつちぎ
 春はあけぼの　夏はあじさい
 秋はあまのつゆ　冬はあつちぎ
 春はあけぼの　夏はあじさい
 秋はあまのつゆ　冬はあつちぎ

問一 右の文章の『』部分のくずし字を、適宜濁点を補って翻字せよ。

問二 『枕草子』の特質や文学史的意義等について、自由に論述せよ。

出典 相愛大学図書館春暁文庫蔵『清少納言枕草子』（巻 283）。原本画像は、国文学研究資料館「国書データベース」(<https://doi.org/10.20730/100386639>) 公開のデータより撮げた。